

0. ガイダンス

国際法体系における位置づけ

国際法Ⅰ → 国際法総論、国際法の空間的管轄

国際法Ⅱ → 国際法の対人管轄、国際紛争処理法

より正確な講義名は：「国際紛争と（国際）法」

- ・ 「平和的」解決…紛争とは何か、平和的処理の方法、裁判手続、ICJ
- ・ 「強制的」解決の統制…武力行使の規制、安全保障
- ・ 武力紛争法…戦闘の方法手段の統制、被害者の保護、戦争犯罪への対応

教科書：杉原高嶺他『現代国際法講義』（第4版）有斐閣

→第3版を持っている場合は買い換える必要はない。

条約集：任意であるが持っている则便利。買う場合は最新版を買うこと。

→昨年度版は使ってもよいが、それより古いものは好ましくない（六法と同じ）。

参考書：

- ・ 杉原高嶺『国際司法裁判制度』有斐閣（1996・絶版）

判例集：

- ・ 松井芳郎他『判例国際法』（第2版）東信堂（2006）
- ・ 山本草二他『国際法判例百選』有斐閣（2001）